

ブロードバンド・アソシエーション

◆第158回BAエグゼクティブサロン◆

世界初の水素中継車が日本を走る！ 来るべき水素社会と放送業界の未来

トヨタ自動車

濱村芳彦

×

TBSテレビ

丹野至之

TBSグループでは、脱炭素社会の実現を目指す取り組みの一環として、世界初となる「水素を使って発電する燃料電池中継車」を導入しました。走行時にCO2を排出しない水素中継車は、TBSのSDGsプロジェクトにちなんで「地球を笑顔にするくるま」のニックネームが付けられ、スポーツ中継などで活躍しています。

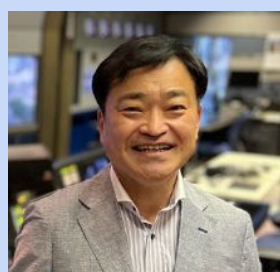
一方、TBSのSDGsのパートナー企業として共に燃料電池中継車の開発に協力して頂いたトヨタ自動車株式会社は、水素社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。経済産業省の「水素・燃料電池戦略ロードマップ」によると、2020年代半ばには、水素社会政策はフェーズ2に入り「水素発電の本格導入」「大規模な供給システムの確立」が始まり、トヨタ自動車の存在感は増すばかりです。

今回、トヨタ自動車の水素エネルギー戦略などをお話伺った上で、TBSテレビが燃料電池中継車をどう放送事業に活用し、社会課題の解決に向けてどう発信していこうとしているのかをご紹介します。



トヨタ自動車株式会社
CVカンパニー水素事業領域統括部長
濱村芳彦 (はまむら よしひこ)

1991年、同志社大学工学部を卒業し、トヨタ自動車(株)に入社。エンジン開発推進部長、パートレーン製品企画部チーフエンジニアを経て、2019年にFC事業領域統括部長に就任。



株式会社TBSテレビ
メディアテクノロジー局長
丹野至之 (たんの よしゆき)

1990年、早稲田大学理工学部を卒業しTBSに入社。番組制作の技術部門、ニューヨーク技術駐在、経営企画、設備計画などを担当し、現在は局長としてTBSテレビの技術部門全般を統括。

日時:2月16日(木) 18:00~19:15
オンライン配信